

沖合黒潮調査 2020 No. 1

令和 2 年 5 月 7 日
和歌山県水産試験場

漁業調査船「きのくに」は令和 2 年 4 月 27 日に潮岬南沖 150 マイルの漁場調査を行った。

西日本は移動性高気圧に覆われる。調査時の海上は比較的風であった。

調査結果は以下のとおり。

		潮岬南沖
黒潮中心部		150 マイル
流速（流向）		3.7 k t （NNE）
黒潮表面水温		22℃台
黒潮強流帯の北縁		130 マイル付近
沿岸漁場水温	表層	17～18℃台
	（2～5 マイル） 50m	17℃台
	100m	16℃台
	150m	14～15℃台

黒潮など（図 1）

関東東海海況速報によると、黒潮は室戸岬で離岸、潮岬沖から大きく離岸、東経 137 度 00 分付近を蛇行の谷とし、東経 137 度 40 分付近を S 字状に北上している。潮岬沿岸域は 18℃台である。

沖合・沿岸の流況および水温（図 2）

今回の調査では潮岬南沖 150 マイルの水深 200m で 16.88℃を観測した。水深 200m の黒潮の指標水温が 16.0℃以上であることと流況（流向 104°、流速 3.7kt を観測）から、黒潮中心部を 150 マイルと判断した。黒潮は潮岬沖で大きく離岸している。

ADCP による流況結果から、潮岬沿岸域から同正南 50 マイル付近までは西向南下流が卓越し、50～100 マイル間は微弱な南向流となり、これより以遠では東向～東向南下流であった。西向流はほぼ 1.0kt 未満、南向流の流速はほぼ 0.5kt 未満であった。東向流は潮岬正南 110 マイル付近で流速 0.4kt、同 130 マイル付近で 1.3kt、同 150 マイル付近で 3.7kt 台であった。

表面水温は、潮岬沿岸 10 マイル付近までは 17～18℃台で、黒潮は潮岬で大きく離岸している影響から同 100 マイル付近まで 17℃後半から 18℃前半となだらかな変化で、黒潮北縁の影響を受ける同 110 マイル付近から 19℃前後となり、同 150 マイル付近は 22℃台であった。

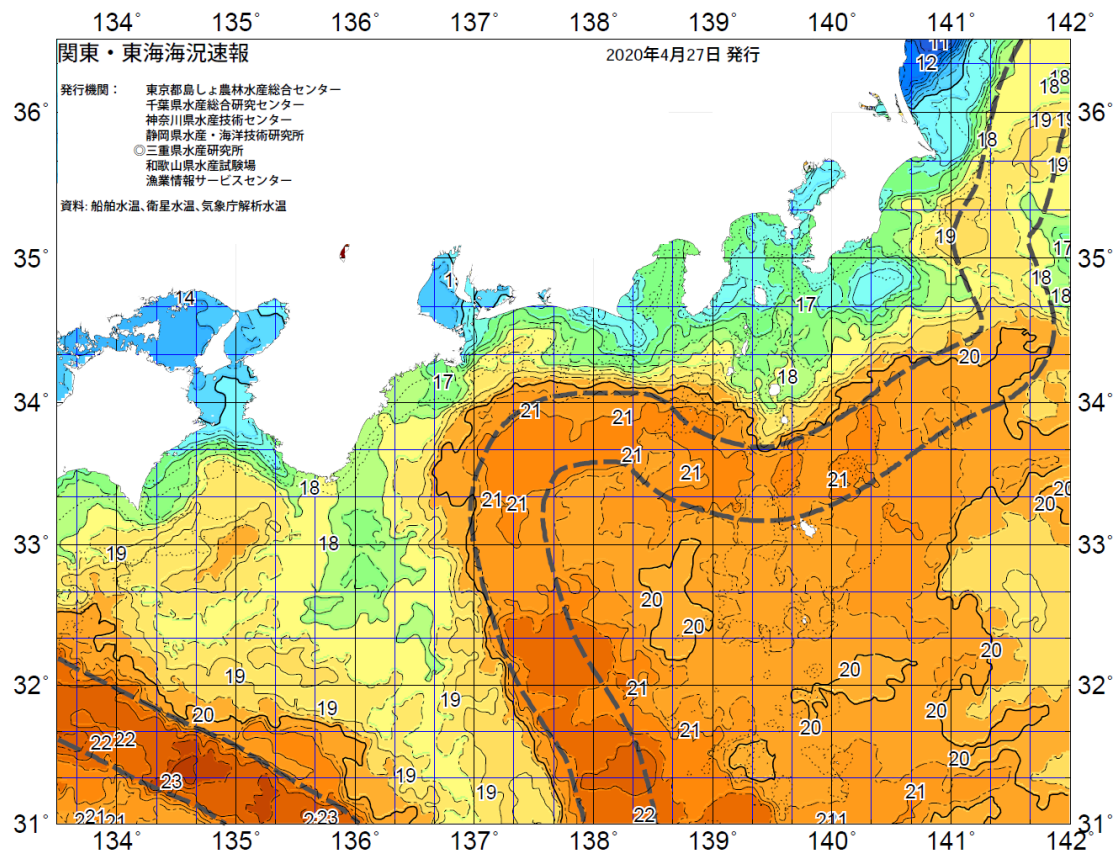


図1 調査時の海況図（関東・東海海況速報 2020年4月27日版）

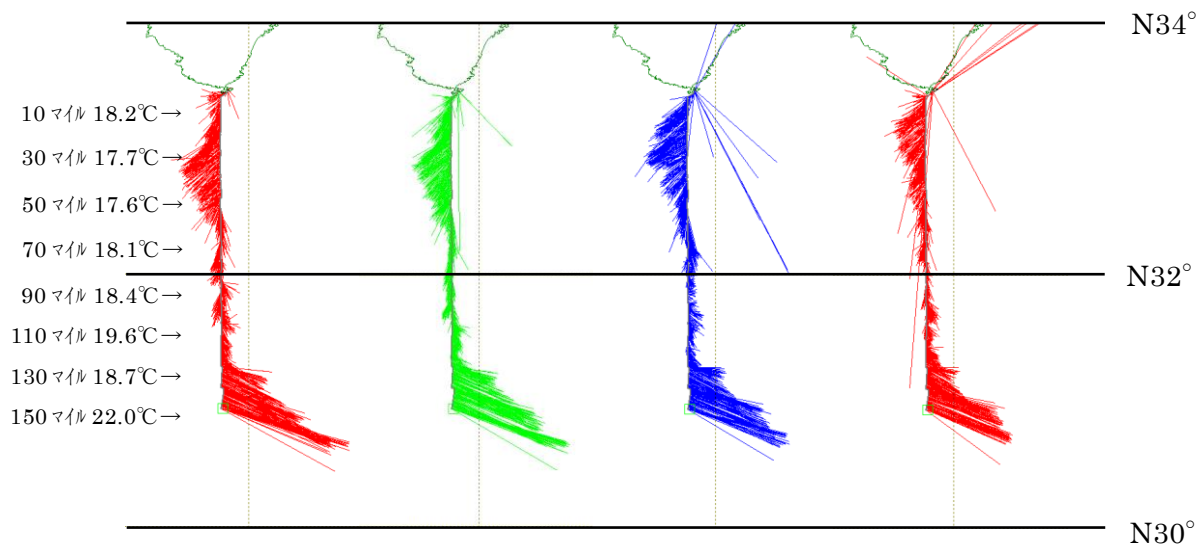


図2 潮岬沖合の海況（2020年4月27日観測）

図は左より往路表層 17m層、49m層、97m層、153m層の流況、図中の数字は表面水温を示す。